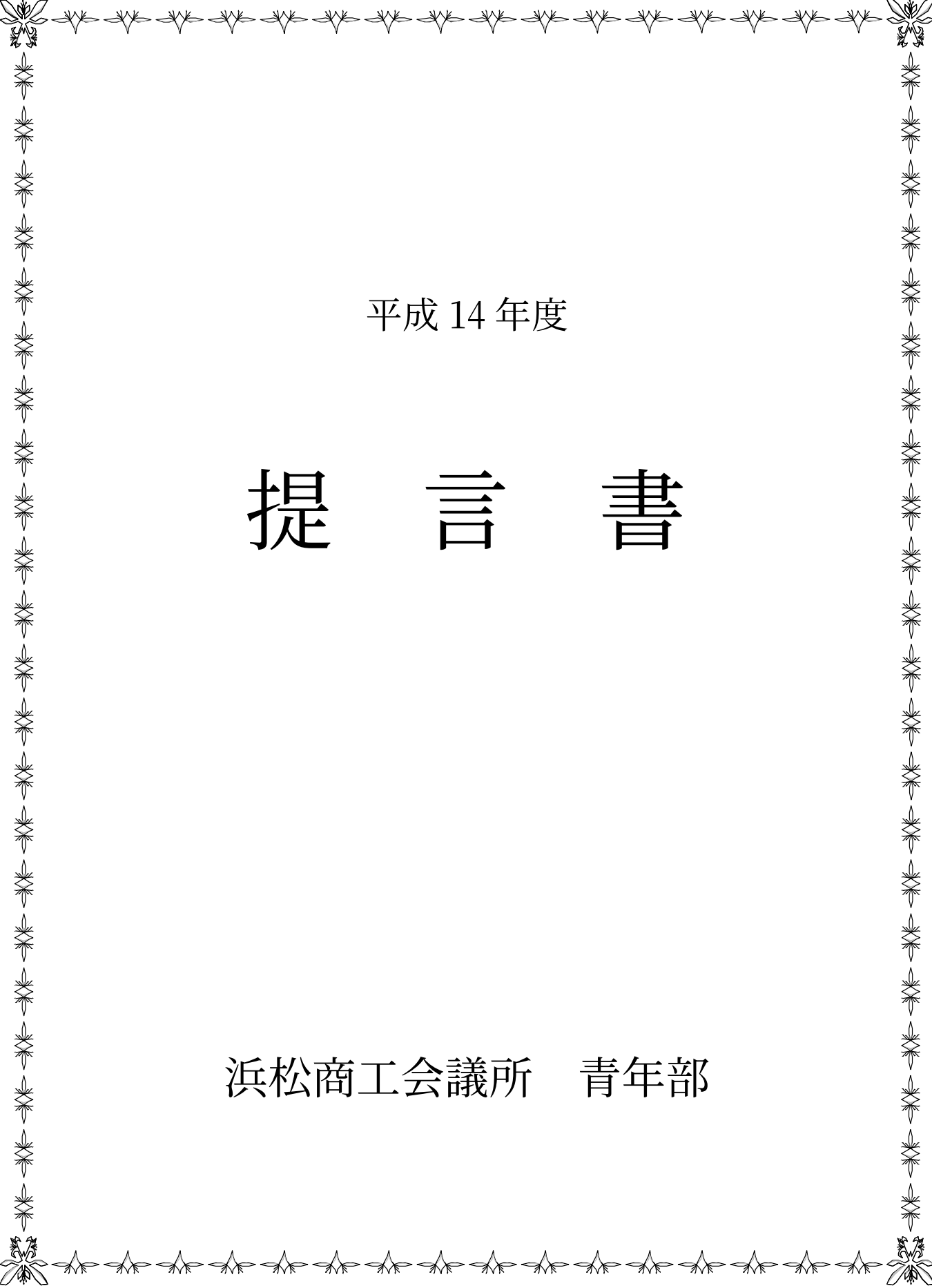




平成 14 年度

提 言 書

浜松商工会議所 青年部

目 次

1	浜名湖ダイヤモンドクラスター都市	1
1.1	都市の目標	2
1.2	都市創造イメージ	3
2	浜名湖ダイヤモンドクラスター都市を創ろう	6
2.1	市町村合併の現状と今後の課題	7
2.1.1	「平成の大合併」の時期が到来した！	7
2.1.2	平成大合併の目的と社会背景	9
2.1.3	国・県による財政支援制度	10
2.1.4	合併・政令指定都市のメリットとデメリット	11
2.2	「浜名湖ダイヤモンドクラスター都市」を創ろう	12
2.2.1	4市6町の現状と課題	13
2.2.1.1	人口及び産業面	13
2.2.1.2	財政状況	16
2.2.1.3	他の政令市との比較	22
2.2.2	浜名湖ダイヤモンドクラスター都市の趣旨	26
2.2.3	五地域に分けた街づくり	27
2.2.3.1	アミューズメント地区	28
A	都市と自然	28
B	オープンスペース	29
C	レクリエーション	30
D	アミューズメント地域テーマ構想	32
E	アミューズメント地域設定	32
F	シティセールス・プロモーション	33
G	アミューズメント施設と地域景観	35
2.2.3.2	いやし系地区	36
A	自然散策と野外スポット	36
B	歴史探訪	36
C	歳時記	37
D	中高年向けを中心とした「いやし系街づくり」の提言	37
E	スローライフ地区	41
2.2.3.3	まちなか地区	43
A	浜松市中心市街地	43
B	「住」拠点としてのまちなかの魅力	45
C	「食」拠点としてのまちなかの魅力	46
D	食料品店を集結して巨大な食品市場の形成	50

2.2.3.4	産業先端地区	54
A	現状の環境把握	54
B	今後の方針	54
C	住環境の整備	59
D	今後の課題	61
2.2.3.5	スポーツ・コミュニティー地区	62
A	現状の環境把握	62
B	中田島砂丘の有効利用	62
C	「グリーン電力証書システム」とは	64
D	スポーツと環境学習の場づくり	65
3	五つの地域の競演で“あこがれ”の都市を	66
3.1	地域相互補完	67
3.2	五感で感じる街	68
3.3	浜名湖を中心とした地域の個性が競演	69
4	まちづくりを具体化するためのキーワード	70
4.1	世界都市	71
4.2	都市内分権と相互補完	71
4.3	物づくりの街からの発展	71
4.4	環境保全都市	72
4.5	政令指定都市構想研究会	72
4.6	合併協議会	72
4.7	住民説明会	73
4.8	地方交付税	73
4.9	合併特例債	74

浜名湖ダイヤモンドクラスター都市

～地域ごとの個性の競演で世界都市へ～



長 期 問 題 委 員 会

1.1 都市の目標

浜松もそうであるように、地域中心都市は長い発展の経過をもち、歴史的背景をもつ都市が多くあります。

このような場合、都市が急激な方向転換を行い、経過の断絶を招くことは望ましくありません。これまでの経過を十分に生かしながら計画をして行く事に重点をおくべきであります。

また戦後、急激な工業化が進んだ地域では公害問題などの対策だけに追われ、生産機能と生活機能の間に大きな不均衡が生じている場合があります。また過疎地域の中心になっている地方中心都市では区域外から産業を誘致する方向へ走りやすいが、農業や地元産業の育成に十分に意を用いていく事も重要であります。

都市として達成すべきゴールは国や都市により大きな相違がある訳ではありません。

都市の発展において目標とすべき点は

- 市民生活を優先する都市
都市環境の安全性、保健性が確保され教育・文化・福祉についても一定の水準を保持し続ける都市
- 完全自治体である都市
都市の環境整備と住民の教育・文化・福祉についてのすべての権限と財源を与えられた自治体としての都市
- 個性ある都市
歴史的条件、地方的伝統を踏まえ、同時に独自の新しい文化を生み出す創造的発展を指向する都市
- 科学的な計画に基づき建設を進め社会的公平を貫く都市
科学的な情報に基づいて住民参加のもとに計画を決定し、その実現にあたっては社会的公平の原則を貫く都市

- 地域環境を保全する役割を果たす都市
自然環境の保全と良好な市街地形成の調和が図られ、また資源の節約とリサイクルに積極的に取り組む都市
- 広域圏における一定の役割を果たす都市
国土、地方計画の中で一定の役割を積極的に果たす都市
- 安定成長を続ける適正規模の都市
都市の規模は過大であってはならず、時間をかけて安定した成長を遂げる都市

1.2 都市創造イメージ

目標の中に「個性ある都市＝歴史的条件、地方的伝統を踏まえ、同時に独自の新しい文化を生み出す創造的発展を指向する都市」と、あります。

例えば、世界の中心と言われるニューヨークは新しい文化を生み、創造的発展を続けている都市であります。

面積は東京都の 1.3 倍と思ったほど大きな街ではない中に世界中から多くの人達が集まって、あこがれの都市として発展して来ましたが、過去には人種差別などの悲劇的な問題もありました。

都市を別の名前と呼ばれるという事も魅力ある所以でしょうか。ニューヨークはいつの間にか“ビックアップル”という響きの良い言葉で呼ばれるようになりました。しかし何故このように言われるようになったのか、英語学者も実に解答が出せなでいるようです。

また、この都市を創造する色としてシルバーという色がイメージされています。建築物、芸術の分野、またティファニーなどのシルバーも有名であります。

これにはこの都市の歴史、文化などが影響を与えているようです。

その昔、人種差別、奴隷問題など肌の色によって悲劇的な歴史があり、その時代から都市として発展していくなかで、シルバーという色がイメージされて来た、という話を聞きました。

シルバーという色は自身の色を持っていません。周りの色を映り込ませる事により、あらゆる色を輝き出す色。白、黒、黄、その他どんな色が周りに置かれた時でもそのあらゆる色を映り込ませ、一つの輝く色を創り出せる事ができる色、それがシルバーなのです。

都市の発展の歴史からイメージされた色であり、それが国際社会の中であらゆる国から人々が集まり、経済・文化の中心に、また新しい文化を生み出す創造的発展を遂げたことにも何らかの影響があったのかもしれない。

その街、都市、地域への“あこがれ”には五感で感じるもの以外に何かがあります。その何かは、見る・聞く・嗅ぐ・触れる・味わうなど言葉に出せるものも当然ありますが、それらが競演しながら生み出す物、それが“あこがれ”となってくるのではないかと思います。



浜名湖を中心とする県西部地域でも伝統・文化・歴史など経過を十分に生かしながら広域圏における正しい役割を果たす地域（クラスター）をちりばめ、その地域どおしが相互に補完しあう多中心の都市圏を創り出します。

その地域（クラスター）ひとつひとつがダイヤモンドの原石であり、地域どおしの“磨き合い”で都市圏が各地域の交流でひとつの“輝き”、各地域の競演で“あこがれ”を創造できる都市を考えます。



浜名湖ダイヤモンドクラスター都市 を創ろう



2.1 市町村合併の現状と今後の展望

2.1.1 「平成の大合併」の時期が到来した！

明治 21 年末に全国で 71,314 あった町村数が「明治の大合併」と「昭和の大合併」を経て、現在約 20 分の 1 の 3,224 市町村にまで減少しています。

地方分権一括法の施行から約 2 年経過した平成 14 年 4 月現在、全国の 2,226 市町村で合併の検討がなされているといわれています。これは、全国の市町村の約 70%に当たります。まさに「平成の大合併」の時期が到来していると言えるでしょう。最近では、平成 13 年 5 月に、浦和市・大宮市・与野市が合併し、さいたま市ができました。平成 15 年 4 月には、静岡市と清水市が合併することも決定しています。



静岡県では現在 18 件ほどの合併構想が持ち上がっています。

	関 係 市 町 村	組 織 名
1	静岡・清水市	平成 15 年 4 月に合併予定
2	東伊豆・河津・南伊豆・松崎・西伊豆町・賀茂村	賀茂地区議会広域行政研究会
3	修善寺・天城湯ヶ島・中伊豆町	田方郡南部 3 町議員合併推進連絡会 田方南部合併研究会
4	沼津・三島・裾野市・函南・清水・長泉・菰山・伊豆長岡町	東部広域都市づくり研究会
5	沼津市・清水町	沼津市清水町中核市推進協議会
6	富士・富士宮市・芝川町	富士地区広域行政調査研究部会
7	富士川・蒲原・由比町	庵原 3 町合併問題等調査会
8	焼津・藤枝市・岡部・大井川町	志太 2 市 2 町任意合併協議会準備会
9	島田市・金谷・川根・中川根・本川根町	島田市榛北 4 町議会議員広域問題研究会
10	御前崎・相良・榛原・吉田町	榛南地区広域行政推進協議会 榛南 4 町議会広域行政推進協議会
11	大須賀・浜岡・小笠・菊川・大東・御前崎・相良町	東遠 7 町広域行政研究協議会
12	掛川・袋井・磐田市・大須賀・浜岡・小笠・菊川・大東・森・春野・浅羽・福田・竜洋・豊田・御前崎・相良町・豊岡村	分権・行改・広域調査会
13	掛川市・大須賀・浜岡・小笠・菊川・大東町	小笠掛川振興協議会合併調査部会
14	掛川市・大須賀・大東町	1 市 2 町合併調査研究本部
15	浜岡・小笠・菊川町	小笠・浜岡・菊川町 3 町合併調査研究会
16	磐田市・福田・竜洋・豊田町・豊岡村	磐南合併推進本部
17	袋井市・森町・浅羽町	袋井市・森町・浅羽町合併研究会
18	佐久間・水窪町	佐久間町・水窪町合併調査研究会

2.1.2 平成大合併の目的と社会背景

－合併特例法と国・県の支援－

それでは、なぜ全国の多くの市町村で合併構想が持ち上がっているのでしょうか？それは、次のような理由が挙げられるでしょう。

- 国際的な都市間競争の激化

経済のグローバル化と地域保護政策の後退によって、地方都市も「生き残り」をかけた国際的な競争にさらされている

- 行政の効率化・スリム化の要請

厳しい財政状況、少子・高齢化社会への対応、地方分権推進等から計画的、安定的な行政運営が迫られている

- 地方制度改革の推進

市町村合併を行うことで、府県合併から道州制度へと移行する

さらに、現時点で市町村合併が推進されている背景には、「市町村の合併の特例に関する法律」いわゆる「合併特例法」の期限が迫っていることも要因のひとつです。

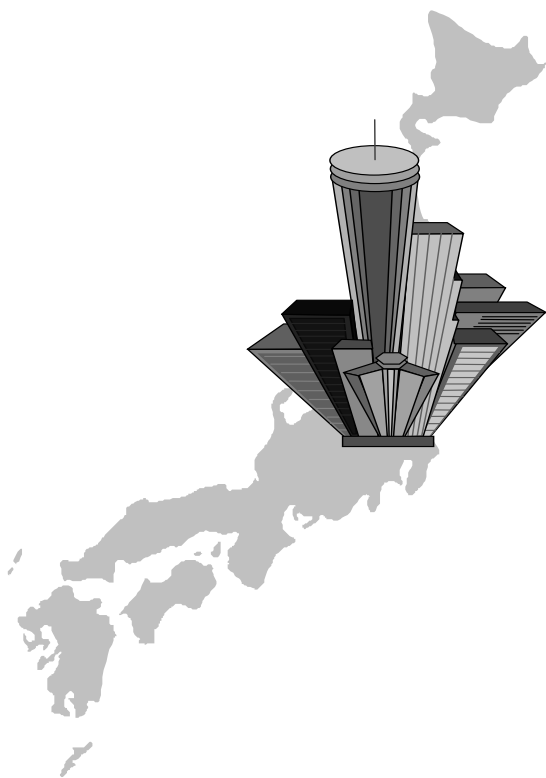
【合併特例法のあらまし】

- 市町村合併の広域化に対処し、自主的な合併を推進するとともに、合併後の地域づくりを支援することを目的
- 現行法の有効期限は、平成 17 年 3 月 31 日
- 主な特例措置 住民発議制度・合併協議会と地域審議会・市町村建設計画・議会議員の定数、在任特例・地方交付税の算定特例（合併算定替え）・合併特例債・過疎債の特例・都道府県議会議員の選挙区の特例など

2.1.3 国・県による財政支援制度

国と県は、自主的な合併を推進するため、次のような財政支援策を設けています。

支 援 制 度	内 容
補助金	合併準備補助金・合併市町村補助金
交付金	静岡県市町村合併特別交付金
資金貸し付け	静岡県市町村振興資金
普通地方交付税	地方交付税の算定特例(合併算定)・合併直後の臨時的経費に対する財政支援(合併補正)
特別地方交付税	合併移行経費に対する財政措置・合併準備経費に対する財政措置・市町村合併に対する特別交付税措置
地方債の特例	合併市町村まちづくりのための建設事業に対する合併特例債・合併市町村振興のための基金造成に対する合併特例債・地域総合整備事業債・過疎債



2.1.4 合併・政令指定都市のメリットとデメリット

政令指定都市になるために合併した場合の一般的にいられているメリットとデメリットには、次のようなものがあります。

【メリット】

- 行政サービスの高度化、多様化、スピード化
- 広域的観点からの街づくり、重点的な投資による基盤整備
- きめ細かな市民サービスの提供
- 行財政の効率化の促進
- 財政的に豊かな街づくりが可能
- 地域のイメージアップ、知名度の増大

【デメリット】

- 役場が遠くなって不便にならないか？
- 中心部だけが発展して周辺部がさびれてしまうのでは？
- 各地域の歴史、文化、伝統が失われてしまわないか？
- 住民の声が届きにくくなるのでは？
- サービス水準が低下してしまうのでは？
- 財政状態が良い市町村には、不利なのでは？

しかし、これらのデメリットは、行政サービスの仕組みを工夫することで、解消できると言われています。

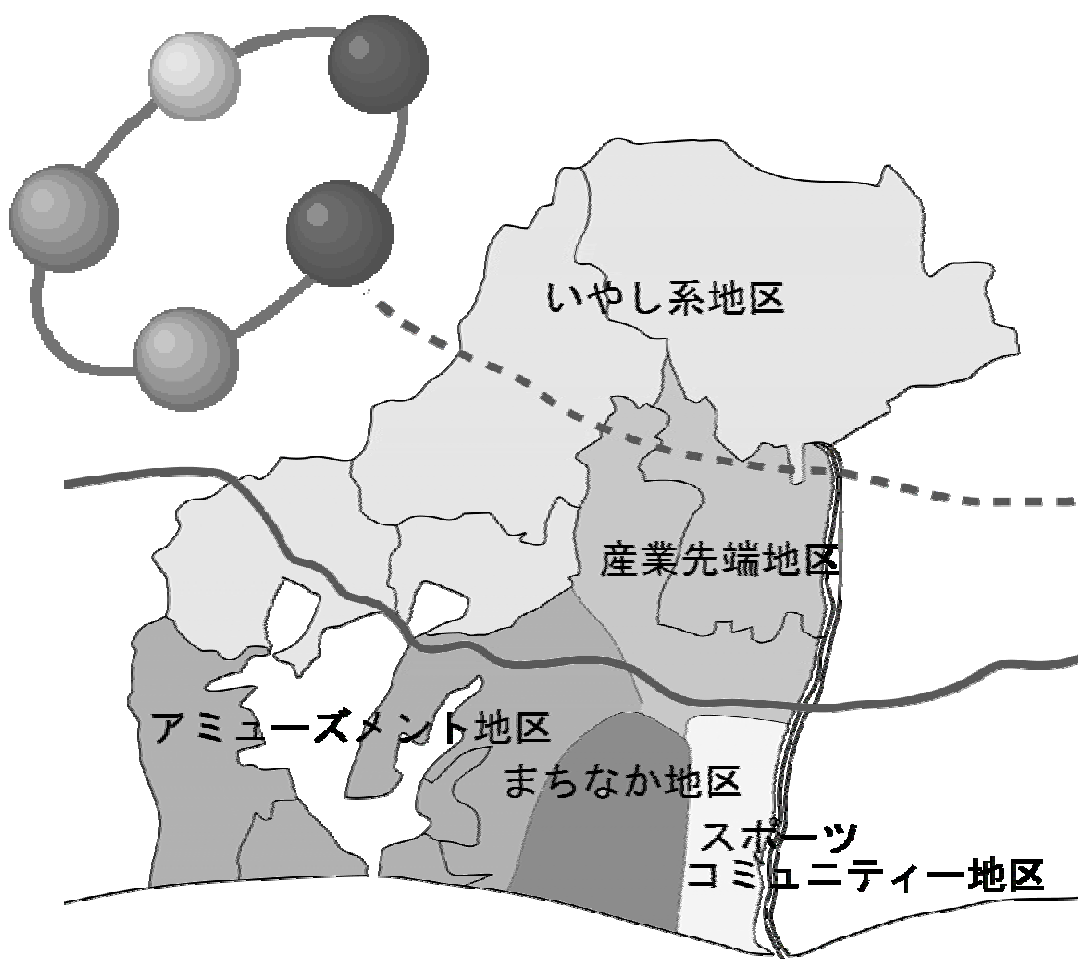
2.2 「浜名湖ダイヤモンドクラスター都市」を創ろう！

—分権と相互補完の都市—

浜名湖ダイヤモンドクラスター都市ってどんな街？

それは、

- 浜名湖を中心にダイヤモンドのように五つの魅力的な地域がクラスター（ぶどうの房）のように取り囲む街
- 浜名湖という「指輪」の周りを、五つのダイヤモンドが煌めく街
- 自然と都市機能が調和する世界で初めての街



2.2.1 4市6町の現状と課題

2.2.1.1 人口と産業面

人口面の数字は浜松市が群を抜いているので、合計も浜松市の特徴がそのまま表れています。ここでは次頁以降の表に載っていない数字で4市6町の状況と課題を探ってみたいと思います。

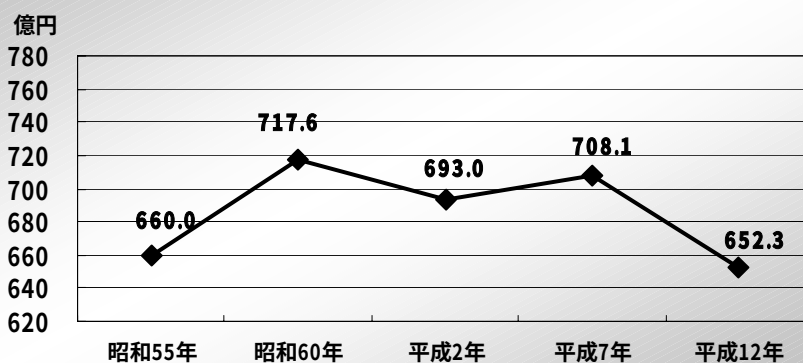
まず人口面ですが、市町村別の人口伸び率をみると、昭和55年から平成12年では、細江町の27%が最も伸びています。三ヶ日町と天竜市がマイナスとなっていますが、全体としては順調に一定の割合で人口が増えているようです。ただ外国人の伸びが高いと思われます。年齢階層別人口比率では例外なく年少人口が減って、老年人口が増えておりこの地域でも少子・高齢化は進んでいます。特に天竜市や引佐町、三ヶ日町の郡部で高齢化が深刻となっています。

産業別人口比率は、湖西市の第二次産業比率や三ヶ日町の第一次産業比率が群を抜いて高くなっており、その町の産業が色濃く表されています。しかし全体としては第一次産業が減り第三次産業が増える傾向が続いており、この産業別人口の比率の特徴がそのまま農業粗生産額、製造品出荷額、卸・小売業の販売額に反映されていますが、推移のグラフを見ると景気の影響で卸・小売業の販売額が落ち込んでいる割には製造品出荷額は健闘しており、この地域の産業がいかに安定しているのかが表れています。

ただ今後もこの傾向が続くとは限らないので、今いちど農業や第三次産業の育成が必要であろうと思われます。



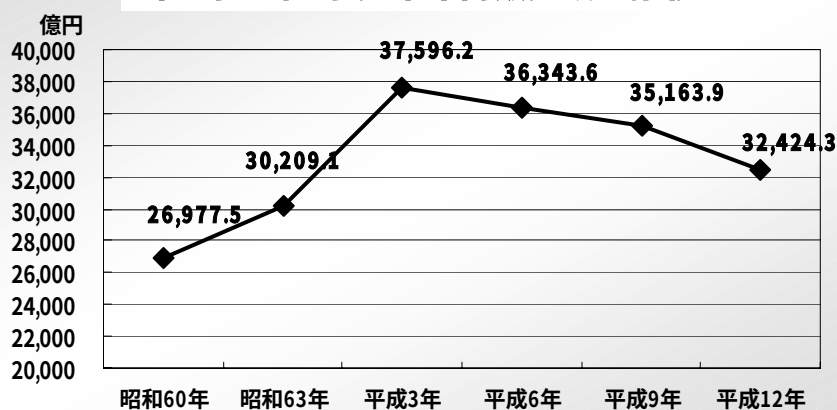
4市6町の農業粗生産額の推移



4市6町の製造品出荷額の推移



4市6町の卸、小売業年間販売額の推移



「国勢調査報告」(総務省統計局)

「静岡県農林水産統計年報農林編」(関東農政局静岡統計情報事務所)

「工業統計調査報告書」(静岡県統計課)

「商業統計調査報告書」(静岡県統計課)

2.2.1.2 財政状況

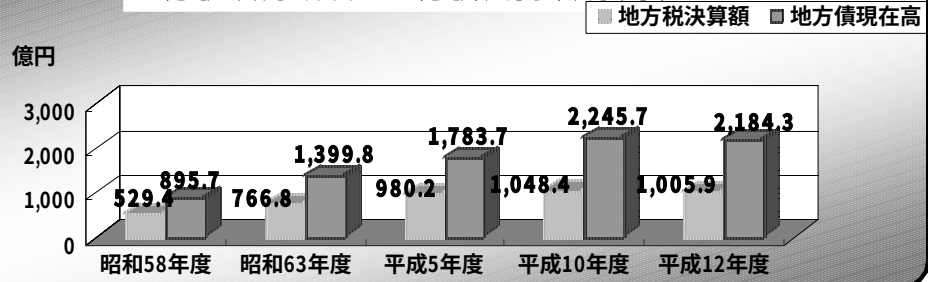
4市6町の合計の一般会計決算額をみると、全体の6割強を浜松市が占めています。

その浜松市はこれまで大規模事業が続いたためか、積立金に対しての地方債の残高が膨らんでいます。浜北市は一般会計の占める地方税の割合が低く、市としては地方交付税に頼っているところがありますが、経常収支比率の低さに見られる様に効率的な行政運営がなされています。湖西市は大企業の工場が多く誘致された効果から人口に対する地方税の割合が高く、地方交付税もほぼ不交付となっていますが、しかし平成5年以降の地方債の割合が増えているのが気になるところであります。天竜市は過疎化と地場産業の衰弱化が進んでいるので、地方交付税に頼らなければ成り立たなくなっているように思われます。その上地方債の残高も増えおり今後、財政的に厳しい状況が予想されます。

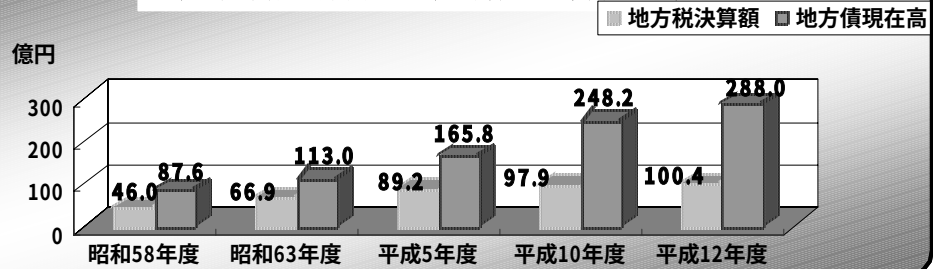
6町の中では新居町が最も財政的に安定しています。その他の町では細江町と三ヶ日町が産業がしっかりしているためか比較的堅実であると言えるでしょう。しかし、残りの3町は人口的にも少なく、またこれといった産業がないことから、かなり苦しい運営がなされているように思われます。

全体としては平成5年度以降、地方税の決算額は伸び悩んでいるのに、一方で地方債の残高が急激に増えています。これは国の景気対策に歩調をあわせて事業を展開してきたからでしょうが、どこまでこの借金を国が面倒みてくれるのかが保障されず、不安な面です。

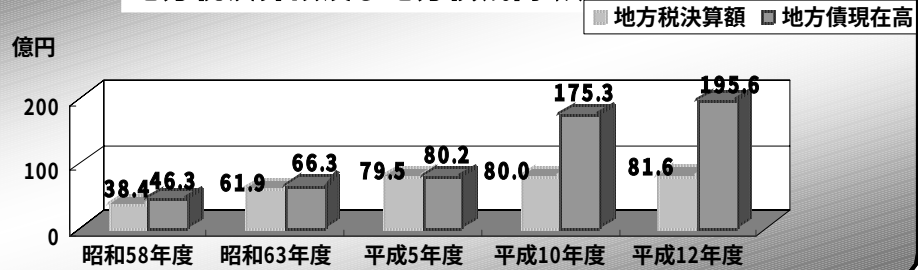
地方税決算額及び地方債残高 (浜松市)



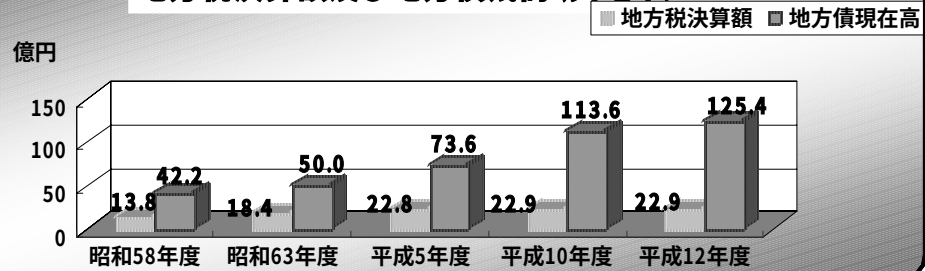
地方税決算額及び地方債残高 (浜北市)



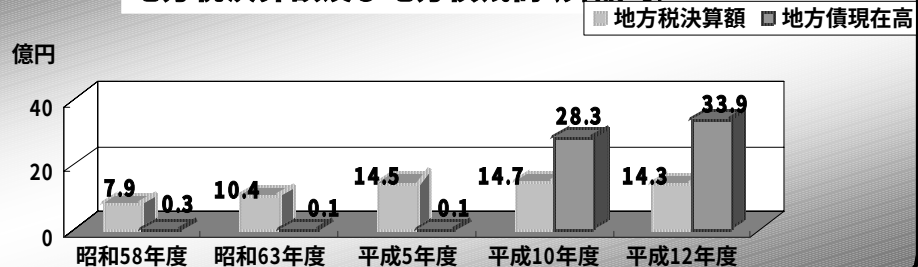
地方税決算額及び地方債残高 (湖西市)



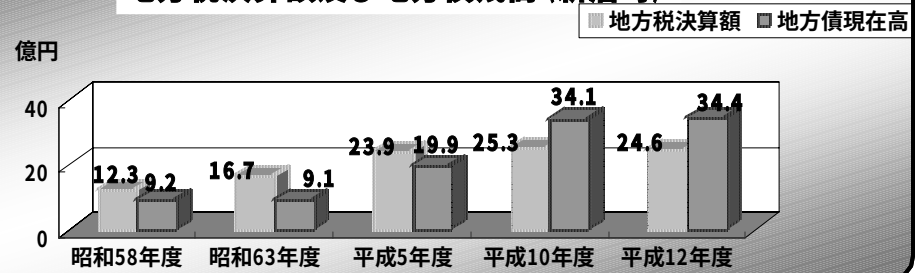
地方税決算額及び地方債残高 (天竜市)



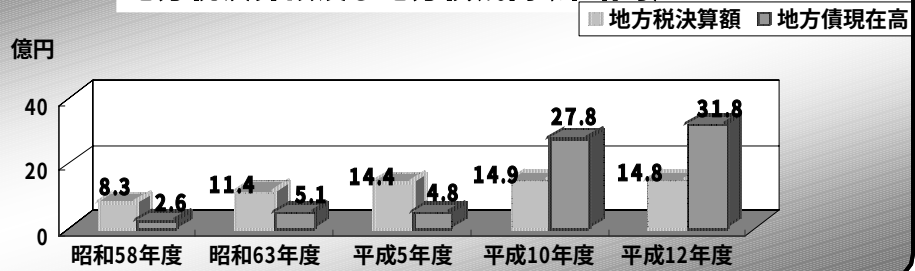
地方税決算額及び地方債残高 (舞阪町)



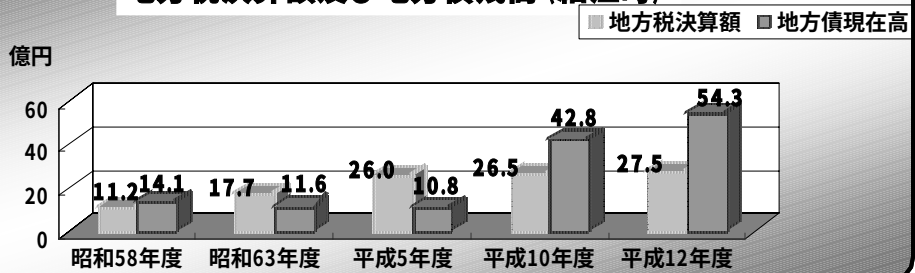
地方税決算額及び地方債残高 (新居町)



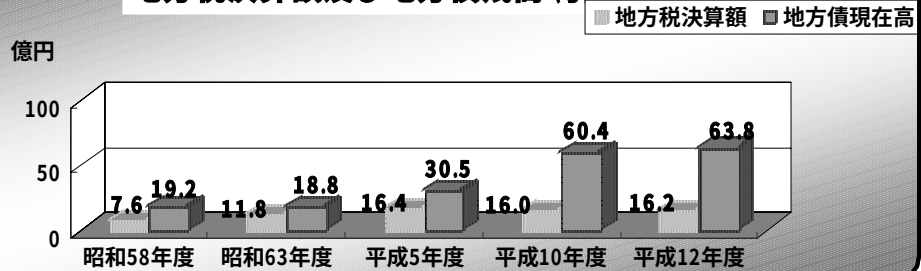
地方税決算額及び地方債残高 (雄踏町)



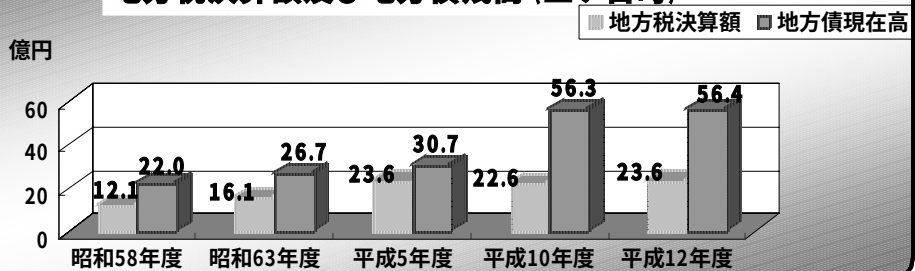
地方税決算額及び地方債残高 (細江町)

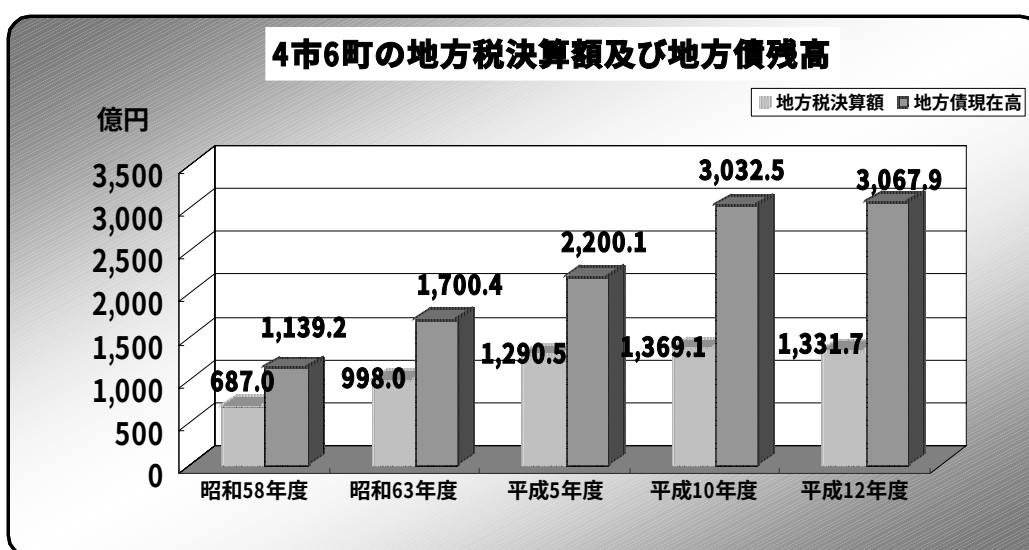
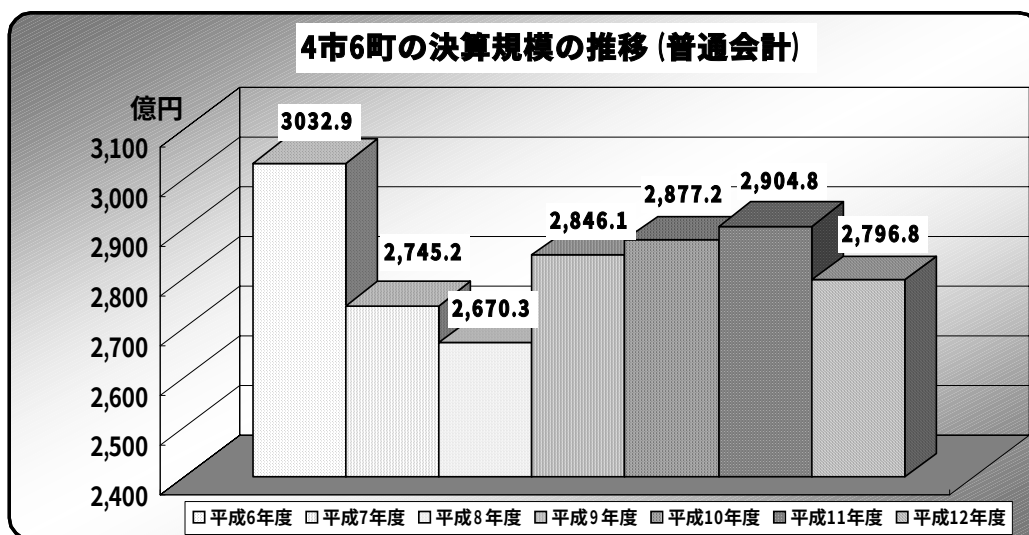


地方税決算額及び地方債残高 (引佐町)



地方税決算額及び地方債残高 (三ヶ日町)





環浜名湖政令指定都市研究会及び
静岡県市町村財政室「市町村財政の状況」より抜粋

- 財政力指数**

平成10年度から平成12年度の3ヵ年平均。
基準財政収入額を基準財政需要額で除した値で、通常、1以上の団体は財政力が強い団体といえることになる。
- 経常収支比率**

経常一般財源が人件費、扶助費、公債費等の経常的経費に充当されている割合。普通 70-80%に分布するのが標準的とされている。
- 公債費負担比率**

一般財源総額のうち地方債の元利償還に充てられた一般財源の割合。

2.2.1.3 他の政令市との比較

環浜名湖の面積の数字は、浜名湖を含んだものですが、政令指定都市の中でも札幌市に次ぐ広さとなっています。街の真ん中にこれだけ広い湖を持つ市はなく、その意味では特徴的な政令市になるであろうと思われます。

年齢階層別比率では、他都市より 15 歳以下と 65 歳以上の割合が高くなって少子化は幾分抑えられているようです。高齢化率は山間部で高い数字となっており、環浜名湖全体的にも数字を押し上げていますが、3 世代のバランスは良いでしょう。産業別人口比率は、他の政令市に比べると明らかに第一次産業と第二次産業の比率の高さが目立ちます。これは取りも直さず農業粗生産高と製造品出荷額の高さに結びついています。

全国市町村の比較でみると、製造品出荷額の 1 位はトヨタ自動車の本拠地豊田市ですが、環浜名湖では川崎市に次ぐ 6 番目の数字となります。因みに浜松市は堺市に次ぐ 12 位です。また農業粗生産額は浜松市は 3 位ですが、環浜名湖だと豊橋市を上回り全国 1 位です。やはり数字の上でも工業と農業が強く、第三次産業が弱い結果となっています。この特徴を生かしていけば、いままでの政令市とは違った面が出てくるでしょう。地産地消などこれからの地域づくりに欠かせない要素を最初から持っているように思われます。



ただ、納税者 1 人あたりの課税対象所得額が浜松市でさえも全国で 219 位となっており、所得の低さがそのまま歳出額の低さになっています。今後いかに生産性を高めていくかが課題となるであろうと思われます。

【参考資料】：環浜名湖 4 市ランキング

(99 年度決算をベースに算出、全国 671 市中)

全国から見た環浜名湖 4 市の財政健全度ランキング

財政健全度	都 市 名	借金体質	財政力	財政基盤	弾力性 自主性
1 位	愛知県豊田市	26 位	1 位	38 位	1 位
2 位	愛知県日進市	6 位	18 位	1 位	5 位
3 位	福井県敦賀市	10 位	2 位	97 位	3 位
4 位	愛知県刈谷市	7 位	7 位	52 位	2 位
5 位	東京都武蔵野市	9 位	4 位	10 位	100 位
85 位	浜松市	415 位	78 位	81 位	59 位
146 位	湖西市	575 位	44 位	314 位	25 位
173 位	浜北市	351 位	251 位	205 位	60 位
521 位	天竜市	395 位	623 位	567 位	263 位

地方交付税をベースとした地方財政の枠組みは変革期を迎えようとしており、将来的には国に依存しなくても生き残れる体質作りが要求される。そこで、現状の財政がどの程度健全であるかを、各市の決算の状況と各種の経済・社会指標をもとに算出した。決算状況からは、借金体質（地方債依存度など）、弾力性・自主性（経常収支・自主財源比率など）、財政力（人口当たりの地方税収額など）の 3 つの指標を算出。あわせて経済・社会指標から、財政基準（個人所得や経済活動の水準など）を指標化し、これをもとにランキングしたものである。

全国から見た環浜名湖 4 市の住みよさランキング

住みよさ	都 市 名	安心度	快適度	住環境 充実度	富裕度	利便度
1 位	福井県福井市	53 位	301 位	351 位	126 位	4 位
2 位	千葉県成田市	127 位	88 位	494 位	30 位	12 位
3 位	富山県砺波市	108 位	158 位	5 位	405 位	67 位
4 位	滋賀県栗東市	116 位	20 位	425 位	25 位	185 位
5 位	秋田県大曲市	203 位	199 位	63 位	418 位	2 位
149 位	浜松市	308 位	175 位	503 位	120 位	191 位
433 位	浜北市	378 位	468 位	188 位	259 位	502 位
594 位	湖西市	614 位	656 位	323 位	234 位	432 位
605 位	天竜市	546 位	630 位	94 位	568 位	469 位

安心度（医療・老人福祉など）、利便度（買い物環境・通勤時間など）、快適度（社会基盤整備など）、富裕度（個人所得など）、住環境充実度（住宅面積・持ち家比率など）の 5 つの視点から、都市の住みよさを指標化しランキングしたものである。

全国から見た浜松市の各種ランキング（全国 673 市中）

面 積		
116 位 茨城県つくば市	117 位 浜松市	118 位 佐賀県伊万里市

人 口		
18 位 神奈川県相模原市	19 位 浜松市	20 位 千葉県船橋市

地方財政歳出額		
22 位 鹿児島県鹿児島市	23 位 浜松市	24 位 静岡県静岡市

農業粗生産額		
2 位 宮城県都城市	3 位 浜松市	4 位 熊本県熊本市

製造品出荷額等		
11 位 大阪府堺市	12 位 浜松市	13 位 福岡県北九州市

小売販売額		
16 位 熊本県熊本市	17 位 浜松市	18 位 大阪府堺市

課税対象所得額（納税者一人当たり）		
218 位 静岡県掛川市 359.6 万円	219 位 浜松市 359.4 万円	220 位 福岡県上福岡市 359.3 万円

乗用車保有台数（100 世帯当り）		
153 位 静岡県島田市 114.6 台	154 位 浜松市 114.6 台	155 位 長野県飯田市 114.4 台

東洋経済新報社刊 都市データパック 2002 年版より抜粋